

センドンの絆

平成27年
2月号
校 長 室

互いに支え合い学び合う学校を目指して (学びの共同体)

平成三十年から学習指導要領が完全改正され、「特別の教科道徳」小3年から「英語」の授業を挿入し、5・6年生は「教科」とへと移行します。また、授業形態も教師による一方的な講義を止め、子どもたちの主体的な授業改革を目指しています。(アクティブラーニングと言われる)

では、本村教育委員会を中心に国頭村の小中学校における「学びの共同体」の理念に基づいた授業改革は、今、本校でどのように実施されているのか、再度確認したいと思います。

まず、学びの共同体が目指す学校のビ



ペア学習
互いに学び合う

子どもたちの豊かな「学び」を保障するには、学習規律の徹底と学習環境の整備が不可欠です。次に、「一斉授業からの脱却」、これなしでは子どもの学びを保障できないといっても過言ではないでしょう。ただ、一斉授業の全てを否定しているのではないことを付け加え誤解がないようにしたいです。



管理者も含め、全職員が、授業実践し公開する。



ジャンプ課題に
取り組む



共有課題に
取り組む



聴き合い支え合う関係

今私たちは「いい授業を求めているのではない、すべての子どもたちの学びを保障する授業を求めよう」を合い言葉に、焦らずゆつくりと前進し、子ども、保護者、地域にとって「すてきな学校」「活き活きとした学校」「安心でき・居場所のある学校」づくりを職員一枚岩となつて取り組んでいます。保護者や地域の皆様と共に「子育てをし、子どもの将来を考え、幸せな社会を創れる」よう頑張っていきたいと思います。学校改革は、保護者や地域の皆様の学校参画があつてこそ実現できるもの



どうに子どもの「学び」があつたか、フチ研・全体研を行い授業の検証を行う

成功裡に終えた「国頭地区PTA研究大会 国頭村大会」

平成二十七年、一月三十一日(土)に国頭地区PTA研究大会が本村で開催されました。本校の体育館では「家庭教育」をテーマとした第三分科会場となりました。各市町村から多くの関係者が集い盛大に研究討議が行われました。山城修会長を中心に多くの皆様のご活躍で成功裡に終えることができました。



と信じています。これからもご協力・ご支援をお願いします。

みんな真剣です



東江小と名護中PTAさんの研究発表のようす

幼稚園体験入学

二月六日(金)二・三校時に幼稚園児の体験入学がありました。みんな楽しそうにしていました。

